

## 情報士活動報告

大江戸両国・伝統祭（第7回）にブースを出しました。

### 生きがい情報士有志数名

日 時：平成24年10月6日（土）7日（日）  
 場 所：両国シティーコアセンター（両国駅徒歩5分）  
 参加人数：6日 1609人、7日 1353人 総数 2962人  
 ブース内容：子どもの遊びコーナー（宝釣り、ヨーヨー釣りなど）  
 生きがい情報士相談コーナー 相談件数 22件  
 （男性7名、女性15名）←6日のみ



大江戸両国・伝統祭りは、昔ながらの伝統文化を継承していくと毎年両国で開催しています。

中央ホールで伝統文化（綱渡り、大道芸、殺陣の技、手妻、江戸芸かつぽれ、相撲甚句、ちんどん屋、銭太鼓）を披露します。

その会場に色々なブースが出ます。そこに23年度から生きがい情報士有志で「生きがい」ブースを出しています。今年は、3世代が一緒に来て遊んでもらえるブースにしようということから子ども遊びコーナーと相談コーナーを企画しました。ヨーヨー釣りでは、子どもも楽しんでいましたが一緒に来た保護者が夢中になって楽しんでいました。宝釣りでは、お菓子だけでなくお母さんたちが喜びそうなサランラップ等を入れていると子どもがお母さんにと言って一生懸命つっていました。釣り上げて「お母さんが喜ぶぞ！」と満足そうな顔でした。



生きがい情報士相談コーナーは、生きがい情報士が一人ひとりの相談者に親身になって相談にのりました。終わってみると相談というより話し相手がほしいという方が多くいらっしゃいました。相談に乗る前に親身にお話を聞いてあげることが大切だと思いました。

初日は、晴天で多くの方が遊びに来ましたが2日目は、残念なことに午前中が大雨で午後からお客様がいらっしゃいました。生きがい情報士としてブースを出し、情報士同士のコミュニケーションを取ると同時に「生きがい情報士」を地域の皆さんにアピールすることができました。身近で話し相手になりながらその方に最もふさわしい地域の情報提供することが大切です。

「地域活動・相談支援センターかさい」でSSTのボランティアをしています。

### 東京都在住 高橋来緒さん



センターかさいは、生きがい情報士指定養成校の東京福祉専門学校が運営しているセンターです。東京都江戸川区葛西地区にあり、江戸川区からの委託を受けて運営をしています。職員の中には、生きがい情報士も勤務しています。地域活動・相談支援センターかさいは、全ての人の希望や可能性を信じ、あらゆる資源を活用したサービスを提供することにより、全ての人が地域で安心して暮らせるよう支援する活動を行うところです。

利用できる方は、江戸川区および近隣の地域で暮らしている、障害（精神・知的・身体）を持つ方ならどなたでも利用できます。

そこで毎週火曜日の午後開催しているSSTのプログラムに同じ江戸川区に住んでいる生きがい情報士がボランティアとして関わっています。SST (Social Skills Training 社会生活機能訓練) は、様々な社会的ストレスに対処し、社会的役割を果たすことができる生活技能を高め、再発を防止するためのリハビリテーションの一つです。認知行動療法で利用者さんが社会生活をする上での自分にとってよりよい人間関係を気付くために実際の場面を想定してロールプレイを行います。

生きがい情報士の高橋来緒さんは、ロールプレイの時のいろんな役をしています。そしてその時の利用者さんの様子をこまめに観察でき築いたことをコメントとしてまとめています。

SSTのリーダーが築きにくいところをサポートして利用者さんが地域で自信を持って生活できるプログラムとなっています。自分の身近なところで活動するのもいいですね。